

タイトル	著者名	内容紹介
これでおしまい	篠田 桃江	3月1日に107歳で世を去った篠田桃紅さん。戦後、ニューヨークに単身で渡り、国際的な評価を得た篠田氏、その人生は冒険と波乱に満ちていましたが、自分の心のままに道なき道を歩いてきました。
リボルバー	原田 マハ	冴(さえ)の働くオークション会社へ錆びついたリボルバーが持ち込まれる。ゴッホの自殺に使われたものだという。ゴッホは本当にピストル自殺をしたのか？殺されたんじゃないのか？あのリボルバーで。
本心	平野啓一郎	自由死が合法化された近未来の日本。最新技術を使い、生前そっくりの母を再生させた息子は「自由死」を望んだ母の〈本心〉を探ろうとする。
雷神	道尾 秀介	一本の脅迫電話。それがすべての始まりだった。幸人は潜入捜査を試みるがそれは新たな悲劇の幕開けに過ぎなかった。
ボケ日和	長谷川嘉哉	認知症の進行具合を4段階に分けて、そのとき何が起こるのか？どうすれば良いのか？を多数の患者さんのエピソードを交えて描いた心温まるエッセイ。イラストは『大家さんと僕』の矢部太郎氏